

第1章 分野別取組方針

第6節 環境で貢献する

1 国際的な環境協力・貢献の推進

1-1 姉妹友好提携先に対する環境協力の推進

独立行政法人国際協力機構(JICA)の草の根技術協力事業として「ガッパン州イボバン、アイメリーク州モンガミにおける官民協働ごみゼロ社会推進事業」を提案し、公益財団法人国際環境技術移転センター(以下、「ICETT」という。)を実施主体とし、パラオ共和国において廃棄物の適切な分別・リサイクルが推進され、循環型社会が形成されるよう、平成30(2018)年から3年間にわたって協力活動を行っています。

平成30(2018)年度はICETT職員が現地で、パラオ共和国における住民の環境意識の調査や、現地におけるワーキングチームの立ち上げを行いました。

2 関係機関との協力

2-1 公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)による環境保全活動

環境問題の中で、とりわけ大気、水質等の環境汚染問題が顕著化している諸外国に対して、四日市地域を中心としてわが国に蓄積された環境保全に資する産業技術を移転するため、産業界、学界等の全面的な支援を得て、「ICETT」を設立し、地球環境保全に資する産業技術の移転を進めています。

平成30(2018)年度は、四日市市からの委託により中国天津市で環境保全セミナーを実施し、さらに天津市からの研修生を受け入れて環境技術や法制度等、課題解決への研修を行いました。JICA草の根技術協力事業では、3年間の事業として、パラオ共和国で分別・リサイクルを普及させるために官民協働のごみゼロ社会推進モデル事業を受託し現地での活動を開始しました。また国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)さくらサイエンスプランではパラオ共和国の高校生を招へいし、最先端の科学技術への関心を高め、優秀な人材の育成に繋げてゆくことを目的とした研修も行いました。さらには、三重県の委託によるグ

ローバル環境セミナーや四日市市と共催でSDGsカードゲーム体験会等を実施し、地球環境の保全に貢献しています。

ICETTでは、関係機関と連携して環境保全・改善に関する研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発等を行うだけでなく、これらの事業の連携によって、諸外国の特性に応じた円滑な技術移転の推進を図っています。

2-2 公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)の機能強化

ICETTは、環境保全・改善のための活動を行うとともに、環境保全技術を有する日本企業等の海外展開支援に関連する事業を実施しています。

平成30(2018)年度は、「三重県国際展開推進協議会」内の「環境部会」の事務局として、第3回会合を平成31(2019)年3月に実施しました。会合の座長は三重大学の客員教授が務め、県内外の企業や団体が参加しました。会合では、JICAの中小企業海外展開支援制度の概要説明や事例紹介、マレーシアにおける環境ビジネスニーズ、三重県国際展開支援窓口(サポートデスク)の案内のほか、環境部会参加企業間での意見交換などが行われました。

また、中部地域の環境ビジネス分野の企業が産学連携、産産連携を創出するためのセミナーや、タイでの商談会等を行いました。

3 研究機関との連携

3-1 保健環境研究所における調査研究等

保健環境研究所では、県内の高等教育機関や行政機関、団体等からの依頼により、学生や行政職員、県民の受け入れを行い、地域から地球規模までの環境問題の解決に向けた人材育成に努めました。